

# 7 母子保健

鶴岡市の0～14歳人口(年少人口)は令和7年3月31日現在11,615人で総人口に占める割合は10.0%であり、出生数は減少傾向が進んでいます。

少子化に加え、乳幼児をとりまく環境は、女性の職場進出、核家族の増加、価値観の多様化など時代と共に大きく変化しており、更には乳幼児虐待など社会的にも問題が大きくなっており、子どもを健やかに育む環境整備が必要となっています。

母子保健法に基づき、母性の健康増進とすべての子どもが健やかに生まれ尊重かつ保護され、健全な成長発達と健康増進を図るために、次の施策を行います。

## (1) 乳幼児健康診査・健康教育事業 (令和7年度予算額 11,373千円)

### ① 乳幼児健康診査・健康相談事業

乳幼児の健康増進を図るために、健康診査を実施しています。

健診では、我が子を客観的に観察することができるよう援助し母親の育児不安軽減と育児交流の場としても位置付けています。

・乳幼児健康診査・7か月児健康相談実施状況(令和6年度)

	受診児 総数 (人)	受診率 (%)	指導区分別実人員(人)				
			問題なし	要指導	要観察	要精密 健診	要治療・ 治療中
4か月児健診	505	97.5	364	20	15	30	76
1歳6か月児健診	638	99.2	426	15	82	30	85
3歳児健診	664	100	283	22	105	181	73
7か月児健康相談	513	97.0	237	16	30	48	182

※7か月児健康診査は令和3年度から7か月児健康相談に変更しています。

※虐待未然防止の観点から未受診者への受診勧奨を強化しています。

※令和4年度から3歳児健診時に屈折検査を導入し、弱視の早期発見に努めています。

※3歳児健診では、尿・視力・聴力検査に屈折検査が加わったため、より要精密健康診査数が多くなっています。

### ② 保健指導事業

子どもの成長、発達、栄養、育児への不安等子育て全般について、相談や保健指導を行っています。

・乳幼児健康相談実施状況

	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度	
	回数	人数								
定期育児相談	533	3,681	518	3,272	574	3,472	584	3,266	543	2,032
不定期育児相談	-	731	-	842	-	546	-	747	-	957
電話相談	2,056		2,100		2,279		2,279		2,332	

※定期育児相談は各コミュニティセンターや地域庁舎で定期的実施しています。(健康すこやか相談窓口も含む)

### ③ 地域組織育成事業

母親同士の交流と、子ども達の遊びの「3つの間」(空間・仲間・時間)づくりを、また地区によっては異世代との交流と場づくりを目的に、学区・地域単位に子育てサークルの自主活動の支援を行っています。サークル活動は、コミュニティセンターや地域公民館等を会場に定期開催され、育児相談も同時開催となっています。

・子育てサークルと育児相談会(令和7年度)

場 所	サークル名	日 時	育児相談日時
第一コミセン	キラキラ星	第2金曜日午前	第2金曜日午前
第二コミセン	ヨチヨチ探検隊	第2又は第3月曜日 午前	第2又は第3月曜日 午前
第三コミセン	チロリン村	第3火曜日午前	第3火曜日午前
第四コミセン	おもちゃ箱	第3火曜日午前	第3火曜日午前
第五コミセン	てるてるぼうず	概ね第3月曜日 午前	概ね第3月曜日 午前
第六コミセン	コアラのマーチ	概ね第1木曜日 午前	概ね第1木曜日 午前
斎コミセン	のびのびクラブ	概ね第2金曜日 午前	概ね第2金曜日 午前
黄金コミセン	なかよしランド	概ね第2木曜日 午前	概ね第2木曜日 午前
湯田川コミセン	たけのこ	第3木曜日午前	第3木曜日午前
農村センター(大泉)	ミッキーのおうち	第3水曜日午前	第3水曜日午前
京田コミセン	ひよっこ広場	概ね第3木曜日 午前	概ね第3木曜日 午前
栄子育て支援室 なかよしルーム	栄あそぼう会	概ね第1金曜日 午前	概ね第3金曜日 午前
たがわ子育て支援センター (田川コミセン内)	たがわ	第2水曜日午前	第2水曜日午前
上郷コミセン	未来っ子クラブ	概ね第3水曜日 午前	概ね第3水曜日 午前
三瀬保育園	わいわいクラブ	概ね第4火曜日 午前	概ね第4火曜日 午前
由良コミセン	はまっ子広場	第1火曜日午前	第1火曜日午前
小堅コミセン	ピヨピヨクラブ	第3木曜日午前	第3木曜日午前
加茂コミセン	わくわく丸	(要問合せ)	概ね奇数月第2 月曜日午前
湯野浜コスパ	ちんちん電車	概ね第2木曜日 午前	概ね第2木曜日 午前
大山コミセン	大山よい子 ワイワイルーム	概ね第2水曜日 午前	概ね第2水曜日 午前
西郷農林活性化センター	つみきクラブ	偶数月概ね第4 水曜日午前	偶数月概ね第4 水曜日午前

場 所		サークル名	日 時	育児相談日時
藤島地域	藤島ふれあいセンター	藤島あいあい	毎週月・火・木・金 曜日午前	第1火曜日午前
	藤島子育て支援センター	児童館あいあい	1～3月 水曜日 午前	—
	八栄島地区地域活動センター	八栄島あいあい	4～12月 水曜日 午前	—
	各地域活動センター (東栄・長沼・渡前)	サークルがやがや	(要問合せ)	—
羽黒地域	羽黒子育て支援センター	はぐろっこ広場	月1回 (育児相談と同日)	概ね第3月曜日
	羽黒老人福祉センター・羽黒コ ミセン・各地区地域活動センタ ー(手向・広瀬・羽黒第四)		不定期	—
榎引子育て支援センター (榎引すこやかセンター内)		あそぼう会	毎週金曜日午前	奇数月第2木曜日 午前
健康の里 ふつら (朝日地域)		びよびよ広場 (1歳未満)	第3木曜日	第3木曜日
		あそびの広場 (1歳以上)	毎週木曜日午前	—
あつみ子育て支援センター (温海地域)		—	—	奇数月概ね第3水曜日 午前

#### ④ 健康教育事業

子どもの成長・発達や育児について、個別的・集団的に指導助言を行い、地域への普及を図っています。

##### (ア) 食育指導と育児教室実施状況

離乳食指導は、4か月児、7か月児の各健診・相談時に実施しています。令和4年度から集団型の食育教育である「ベビーキッチン」から、個別相談型の「離乳食相談」へ変更しています。

		2年度		3年度		4年度		5年度		6年度	
		回数	人数								
食育	離乳食指導	48	1,445	48	1,311	48	1,258	48	1,262	48	1,018
	離乳食相談	—	—	—	—	9	15	9	19	6	10
	食育教室	1	14	1	1	0	0	1	3	3	46
育児 教室	育児サークル支援	2	16	8	2	2	18	6	13	9	93
	子育て支援	5	141	0	5	2	11	2	63	4	102

(イ) 思春期教育

思春期における心と体の変化を知り、豊かな人間性と社会性を持ち、正しい知識と行動により将来待ち望んだ妊娠が迎えられるように講義と実技体験（赤ちゃん抱っこ・妊婦体験）等を、他機関との連携を図りながら行っています。

すこやかネット出前子育て懇談会、学校対象の思春期講座等で、周知啓発を継続していきます。

2年度		3年度		4年度		5年度		6年度	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
3	67	1	28	1	32	2	237	4	234

(ウ) 歯科健康教育実施状況

対 象	事業名	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度	
		回数	人数								
乳児の保護者	7か月児健康相談	24	739	24	634	24	640	24	638	24	513
幼児及び保護者	1歳6か月児・3歳児健診	50	1,442	51	1,436	54	1,510	54	1,383	51	1,302
	育児サークル等	5	38	6	128	5	41	4	21	3	36

**⑤ 健康支援事業**

先天的な障がいや発達障がい等の障がい受容と育児を支援し、適切な療育環境の整備を図り、また一貫した療育支援のため、医療・保健・福祉の連携を図っていきます。

(ア) 言語発達相談（おやこ教室）

乳幼児健診や相談において、ことばの発達やコミュニケーションに課題のある幼児とその家族、育児不安のある母とその子ども等を対象に実施しています。

2年度		3年度		4年度		5年度		6年度	
回数	人数	回数	人数	回数	回数	人数	回数	人数	回数
8	実 39 延 50	8	実 38 延 50	8	実 26 延 37	8	実 34 延 49	8	実 34 延 49

(イ) 元気キッズ教室

幼児肥満の増加から生活習慣病の予防を強化します。1歳6か月児、3歳児健診で発見された肥満や低身長幼児を対象に専門医師による健診や生活習慣病の予防に向け、継続的に支援しています。

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
回数		4	4	4	4	4
人数	肥満児	実 21 延 24	実 28 延 30	実 25 延 30	実 18 延 21	実 16 延 21
	低身長	実 11 延 14	実 8 延 9	実 9 延 12	実 10 延 12	実 10 延 11

## ⑥ 療育指導事業

障害児の適正療育を図るために、温海地域親の会活動を拠点に療育経験交流と情報交換及び収集などを行いながら、親の会活動を育成しています。(令和6年度)

- ・かたつむりの会(療育訓練を必要とする児の親の会) 開催状況<温海地域>

回数	延人数	内容
3	12	情報交換

## ⑦ 連携推進事業

子育て・療育支援・虐待予防について、保健、福祉、教育等が連携し開催しています。

- ・子育て支援連絡協議会(櫛引地域)

回数	参集者、担当者	内容
1	保育所(園長)、子育て支援センター(職員) 行政職員(児童福祉担当、教育担当、保健師)	情報交換 ケース会議

- ・子育て支援センター連絡会議(櫛引・朝日・羽黒地域 1回ずつ)

回数	参集者、担当者	内容
3	子育て支援センター(職員)、行政職員(保健師)	情報交換 ケース会議

- ・虐待予防連絡会議(温海地域)

回数	参集者、担当者	内容
2	保育所(園長)、子育て支援センター(所長)、 主任児童委員、行政職員(児童福祉担当、指導主事、 子ども家庭支援センター、保健師)	情報交換 ケース会議

## (2) 妊婦健康診査・家庭子育て機能育成事業

(令和7年度予算額 67,240千円)

妊娠期を健やかに過ごし安心して出産に臨めるようにするために、妊婦に対する健康診査を医療機関に委託実施し、妊娠中の健康管理や経済的負担の軽減を図っています。

健康課とこども家庭センターが連携し、妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援を行います。

### ① 健康診査事業

- ・妊婦健康診査受診者数(令和6年度)

実人員		実人員		実人員		実人員	
1回目	495	2回目	484	3回目	490	4回目	478
5回目	485	6回目	491	7回目	487	8回目	490
9回目	486	10回目	468	11回目	434	12回目	371
13回目	264	14回目	168				
超音波 1回目	496	超音波 2回目	483	超音波 3回目	499	超音波 4回目	452
子宮頸がん	475	クラミジア	494	HTLV-1	491		

・妊婦健康診査結果状況（令和6年度）

	受診者実数	指導区分別実人数				異常のある者（疑）			HBs抗原陽性者数	HCV抗体陽性者数
		異常なし	要経過観察	要精密検査	要治療	高血圧・たん白尿	貧血	高血糖		
1回目	495	193	259	24	19	2	21	27	0	0
4回目(20週頃)	478	247	210	0	21	0	3	0	0	0
8回目(30週頃)	490	197	173	2	118	0	79	3	0	0
12回目(37週頃)	371	182	153	0	36	0	33	0	0	0
子宮頸がん	475	470	0	5	0					
クラミジア	494	481	0	0	13					
HTLV-1	491	490	1	0	0					
超音波	1回目	496	492	1	0	3				
	3回目	499	448	37	0	14				

（注）償還払いによる受診は含まない。（償還払い22件）

（注）高血圧は最高血圧150mmHg、最低血圧90mmHg以上、たん白尿は+以上、貧血はヘモグロビン濃度11g/dℓ未満。

## ② 母子保健相談支援事業

### （ア）妊産婦サポート事業

支援が必要な妊婦に、妊娠期から家庭訪問や面談で保健指導を実施することにより、母性・父性や子どもへの愛着形成を育み、妊娠・出産・子育てへの不安軽減を図ります。

	実人数	訪問・面談（延）	電話での支援者数
2年度	13	52	実13 延47
3年度	20	46	実12 延43
4年度	11	32	実12 延58
5年度	10	20	実8 延32
6年度	15	36	実12 延12

### （イ）プレママ教室

妊娠、出産、子育てに関する悩みに対して、専門職である保健師、助産師等が不安や悩みを傾聴し、相談支援を行い、孤立感を軽減し、安心して妊娠期を過ごし、出産、育児に臨むことができるよう支援します。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
回数(回)	10	10	12	12	12
参加妊婦(実人数)	41	57	64	66	72
参加総数(人)	140	168	194	218	220

※平成30年6月から実施

(ウ) 母乳・ミルク相談

産婦の子育ての悩みに対して相談支援を行い、母乳栄養を推進し、乳児が健やかに成長発育できるよう支援するとともに、産婦の子育て不安の軽減を図ります。

	定期相談		随時相談（電話・訪問を含む）	
	実人数	延人数	実人数	延人数
2年度	30	45	29	38
3年度	37	50	31	41
4年度	32	42	30	38
5年度	26	29	15	17
6年度	30	35	49	71

**③ 訪問指導事業**

育児経験の不足からくる育児不安の解消と、生命誕生の喜びを確認し、親の育児に対する役割や責任について理解を深めてもらうために、全乳児に訪問指導を行っています。

また、若年、未婚、高齢初産婦などハイリスク妊婦に対しては、妊娠中にも訪問指導を行っています。

	乳児		低出生体重児		幼児		妊産婦		その他	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
2年度	652	738	29	35	41	56	676	786	32	59
3年度	658	731	37	43	33	44	710	798	16	20
4年度	565	639	40	42	31	50	609	719	15	27
5年度	547	595	40	63	20	29	582	648	9	13
6年度	485	549	31	31	29	32	521	618	14	26

**④ すこやかな子どもを生ま育てるネットワーク推進委員会**

(ア) 設置目的

核家族化、少子化の進展、女性の社会進出などの社会構造が変化するなかで、子育てに不安をもつ母親が増え、身近に相談する人がいないなど新しい時代の子育てが問題となっています。すこやかな子どもを生ま育てるために関係者が情報を交換しながら連携を密にし、効果的な母子保健活動を推進していきます。

(イ) 設立年月日 平成6年2月16日

(ウ) 令和6年度活動目標

「みんなで支え 笑顔あふれる子育てを ～こどもまんなかを目指して～」

(エ) 活動状況（令和6年度）

○子育て講演会 令和6年11月2日 会場：出羽庄内国際村

「きっと見つかる！わが家流の子育て

～ほめ上手・叱り上手で笑顔あふれる子育てを～」

講師 山下 直樹 氏（名古屋短期大学保育科教授） 参加者 89人

- 円卓会議 令和7年2月18日 会場：にこふる 栄養指導研修室  
 情報提供 「いきいき健康つるおか21プラン」について  
 「出前講座実施状況」について  
 グループワーク「親子の健やかな成長のための支援の推進」

委員14名

○すこやか出前子育て懇談会

実施日	参加者	内容
令和6年9月25日	温海中学校 保護者・教職員 18人	「がん予防について」
令和6年11月28日	湯野浜小学校 保護者 125人	「メディアについて」
令和6年12月3日	豊浦中学校 3年生・教職員 17人	「命の大切さ」
令和7年1月29日	羽黒中学校 3年生・教職員 64人	「命の大切さ」

○すこやかネット通信「親ガメ・子ガメ」

- ・60号：令和7年3月発行

○推進委員会 年2回

○専門部活動

- ・研修部 円卓会議、子育て講演会の企画、実施
- ・推進部 すこやか出前子育て懇談会の実施
- ・編集部 すこやかネット通信の編集・発行、活動のPR媒体作成

(オ) 委員体制 19人

委員区分

- ①保健所等行政機関の代表者…… 3人  
(庄内保健所、小学校・中学校各養護教諭部会)
- ②小児科・産婦人科等関係医師… 2人
- ③地域関係団体代表者…………… 3人  
(市立保育園保護者会連絡協議会、子育て支援センター利用者、市社会福祉協議会)
- ④学識経験者…………… 3人
- ⑤市関係課職員…………… 8人  
(子ども家庭支援センター、社会教育課、学校教育課、女性センター、学校給食センター、庄内病院小児科・産婦人科)

**⑤ 新生児聴覚検査助成事業**

新生児の聴覚障がいを早期に発見し、適切な療育を行うことにより、言語発達等への影響を最小限に抑えることを目的に新生児聴覚検査の費用の一部を助成しています。

	受検者数(人)	償還払い(再掲)件数
4年度	599	21
5年度	539	21
6年度	494	24

※令和4年4月より実施。

### ⑥ 妊婦歯科健康診査事業

妊娠中のむし歯や歯肉炎の悪化を防ぐために妊婦歯科健康診査の公費負担を行い、経済的な負担軽減を図っています。 ※受診費用は無料

	対象者(人)	受診者数(人)	受診率(%)
5年度	513	184	35.9
6年度	505	252	49.9

※令和5年4月より実施。

### ⑦ 子育て応援ギフト事業

妊婦へ出産・育児に対する不安軽減を図るための応援メッセージを送付し、相談窓口の周知を行います。また、出産から子育て期の家庭に対し、親子の愛着形成と生活習慣の確立を促す乳児訪問時と1歳6か月児健診時に絵本を贈り、子育て家庭を応援する気運の醸成を社会全体で図るとともに、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制を整備します。

(人)

	応援メッセージ (妊娠7か月児)	絵本ギフト (乳児訪問)	絵本ギフト (1歳6か月児健診時)
6年度	472	453	638

### (3) 生殖補助医療費助成事業

(令和7年度予算額 5,085千円)

令和5年4月より、公的保険適用後の生殖補助医療(体外受精及び顕微授精等の特定不妊治療)を受ける夫婦に対し、山形県不妊治療費不妊治療(生殖補助医療)費助成事業に上乗せをして、治療費自己負担額の一部を助成し、経済的軽減を図っています。

	組数
5年度	実70 延125
6年度	実64 延101